

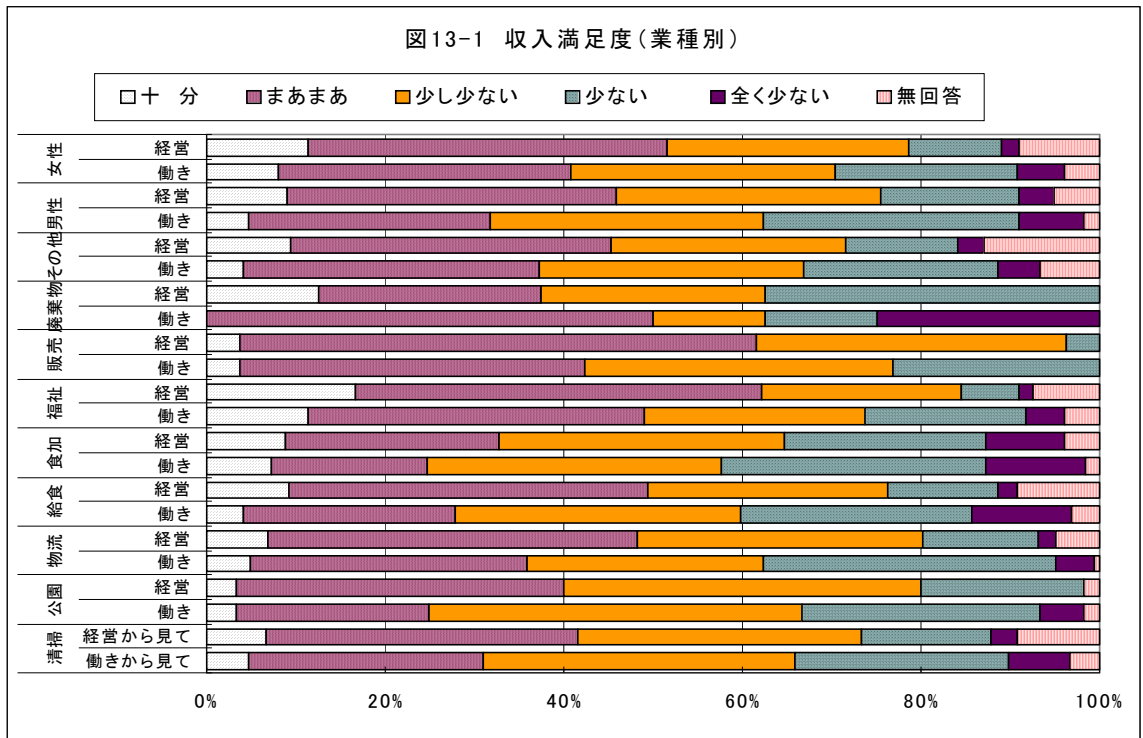
職種別では、廃棄物関連の37.5%、福祉・介護の36.4%が「転職意思あり」と答えたのが最高で、最低は清掃・ビルメンの19.5%であった。前回は物流が介護・福祉と並んで「転職意思あり」(32%)のトップだったが、今回は24.7%まで下がった。公園・緑化の76.7%が「働き続けたい」と答えているのは、高齢者が多いからだと考えられる。

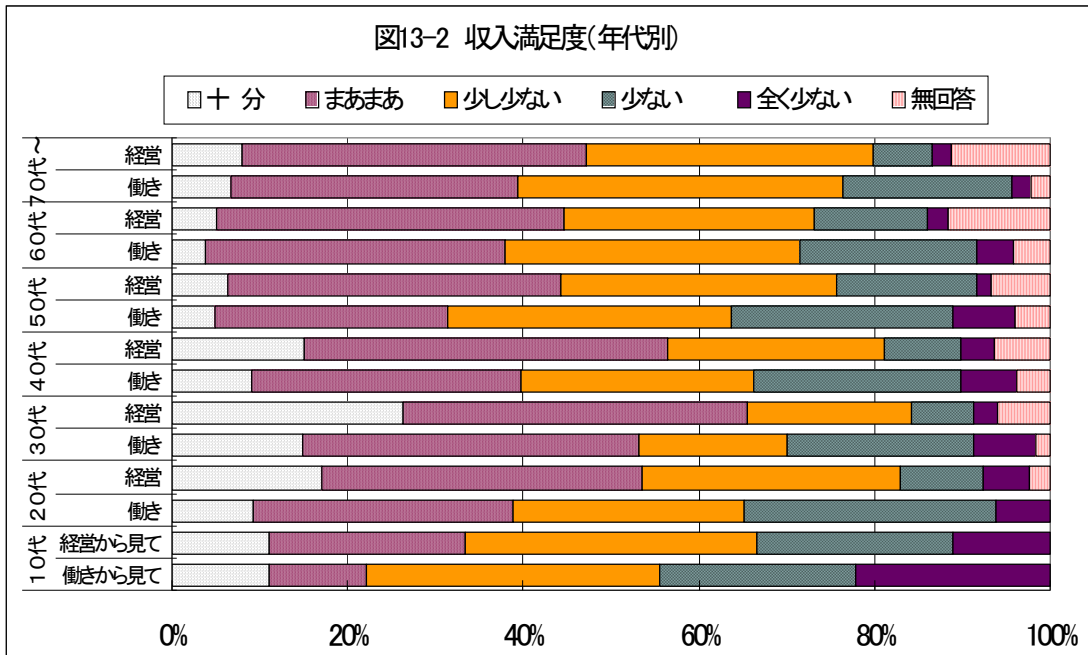
と答えているのは、高齢者が多いからだと考えられる。

IV. 仕事環境の意識

1. 現給与の評価

全体的には、「まあまあ」30.8% (前回比2.6ポイント↑)、「少し少ない」29.9% (同1.3ポイント↑)、「少ない」23.1% (同0.4ポイント↓)と続く。「十分」「まあまあ」「少し少ない」の割合が増加し、「少ない」「全く少ない」の割合が減少した。職種別に「十分」「まあま





あ」を合計した割合を高い順から並べると、廃棄物関連の50%（前回比なし）、福祉・介護の49.0%（前回比0.5ポイント↓）、販売・売店の42.3%（前回比なし）、物流の35.8%（前回比4.8ポイント↑）、清掃・ビルメンの30.9%（前回比3.2ポイント↑）、給食の27.8%（前回比なし）、公園・緑化の25.0%（前回比17.7ポイント↓）、食品加工の24.8%（前回比なし）となっている（表18-1）。公園・緑化の前回との差が目立つ。経営面を考えると「給与が少ない」と考える人は減る（表18-2）。

2. 職場で“自分はならなくてはならない存在”か

自分は職場になくてはならない存在だと「思う」が30.6%（前回比約5.0ポイント↑）、「思わない」が19.5%（同僅かに↓）、「分からない」と「無回答」との合計が49.8%（同4.5ポイント↓）であった。

職種別に見ると、給食が（是40.2%、不是20.6%）が最高を示し、次いで清掃・ビルメン（是33.7%、不是14.4%）である。是と不是の割合が逆転しているのは販売・売店（是26.9%、不是38.5%）であった（表19）。「分からない」が全体で46.2%と多いのは、自己評価と周りの評価が異なるからではないだろうか。

V. 健康、老後、介護、子育て、ストレスと悩み

1. 健康状態と健康意識

男女ともに60代・70代が他の年代に比べ「健康状態がよい」と答えた割合が高く、3割を超えた（表20）。男女ともに「よい」と答えた割合が一番少なかったのが40代で、男